



愛知県社会保険労務士会 知多支部だより

2026年(令和8年)第86号



無料相談会 イオンモール常滑会場



無料相談会 アピタ東海荒尾店会場

愛知県社会保険労務士会 知多支部



着任のご挨拶

半田労働基準監督署長

井 奥 善 久

新年明けましておめでとうございます。

愛知県社会保険労務士会知多支部の皆様には、日頃より労働基準行政の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年9月の毎月勤労統計では、実質賃金が9か月連続で減少し、賃金の伸びが物価上昇に追いついていない実態が継続しているとの結果が公表されました。一方、愛知県の最低賃金は昨年10月18日より、1,140円となりましたが、愛知労働局では、特に、中小企業・小規模事業者が賃上げしやすい環境整備に向けた取組を継続して実施しております。

労働基準監督署においても、賃金上昇が消費活性化に繋がり、それにより企業収益が伸びさらなる賃金上昇になるような好循環が生まれるように企業に寄り添った対応を図って参ります。

次に、半田労働基準監督署管内での労働災害の発生状況ですが、令和7年10月末現在で、死亡災害が3件発生する等、重大災害もまだまだ根絶することが出来ていない状況です。

労働災害防止対策については、各事業場で自律的な安全管理を行う観点からリスクアセスメントの実施を図っているところですが、それぞれの事業場で日々の業務を調べ、作業手順等を十分に検討することは、災害発生リスクを低減することにも繋がります。半田労働基準監督署でも、リスクアセスメントの定着を軸に、各事業場に対策を呼び掛けて参ります。

また、愛知労働局においては、安全管理を経営課題の一つとして捉え、生産性、品質、納期等と一体的に戦略的に管理する経営手法を「安全経営あいち」とし、これに賛同する事業場を安全経営あいち賛同事業場として広く募集をしています。こちらについてもご理解、ご協力をいただければ幸いです。

労災補償の状況では、半田労働基準監督署でも、近年は、脳・心臓疾患や精神障害の請求件数が増加をしています。これらの原因の一つである過重労働やメンタルヘルス対策等を事業場に対して確認し、法違反が認められれば、是正指導を図って参ります。

今年度も、全職員が適正に業務を進めて参りますので、支部会員の皆様方にもご協力をいただくと共に、顧問先等関係事業場へのご指導をお願いいたします。

最後になりますが、貴支部並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

半田公共職業安定所長

小 笠 原 潤

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃からハローワーク半田の業務推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、愛知県内の雇用情勢については、昨年来、県内の有効求人倍率は年間を通して全国の倍率を若干程度上回っており、基調としては「持ち直しの動きが広がりつつある」状況を継続しており、「運輸」や「看護」、「建設」、「介護」、「警備」、「保育」などといった特定の業界に限らず、あらゆる産業において、“人手不足感”が高まっていることが伺えます。

当所においては、こうした状況の改善に少しでもお役に立てるように、人材のマッチング機能のさらなる強化を図り、事業主のニーズや求職者個々の状況に応じた一層きめ細やかな就職・充足支援等を継続的に行って参る所存でございます。なかでも、昨年度新規に開設した「人材マッチング企画部門」を中心に、半田所管内において求人が全体の3割以上を占める「看護・介護」といった福祉系分野の充足支援には特に注力しており、就職面接会や企業セミナー、オンラインを活用した企業説明会等を多数実施しておりますが、これまで以上に引き続きこれら分野の支援を継続すると共に、その他あらゆる分野の事業主の皆様のニーズに応じ、管内の各自治体や業界団体との連携も深めながら、皆様の人材確保にご協力できるように努めてまいります。

新しい年を迎え、私ども職員一同、「懇切・公正・迅速」をモットーに、地域や来所する皆様の特性やニーズ、課題を的確に把握の上、これらに対応できるような課題解決支援サービスの提供を行うよう、取り組んでまいります。

愛知県社会保険労務士会知多支部会員の皆様には、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴支部の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新 年 の ご 挨拶

日本年金機構 半田年金事務所長

五 明 芳 弘

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、愛知県社会保険労務士会知多支部並びに会員の皆様方には、平素より年金事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月以降に順次施行される年金制度改正法は、社会経済の変化を踏まえた年金制度の機能強化を図る観点から、働き方や男女の差に中立で、ライフスタイルや家族構成等の多様化を踏まえた年金制度を構築するとともに、所得再配分機能の強化や私的年金制度の拡充等により高齢期における生活の安定を図るため、被用者保険の適用拡大、在職老齢年金制度の見直し、遺族年金の見直し、標準報酬月額の上限の段階的引上げ及び個人型確定拠出年金の加入可能年齢の上限引き上げ等の措置が講じられるなど、将来の受給者の年金給付も充実させながら、現在の受給者の年金を増額措置する内容となっています。

今後、年金受給者の増加、人々の働き方の多様化等による厚生年金被保険者数の増加、これに加え外国人の更なる増加など、年金制度を取り巻く環境には大きな変化が見込まれます。

また、社会のデジタル化は一層加速しています。

このような社会環境の大きな変化を見据えた、より積極的な対応が重要と考えています。

年金事業の運営には、厚生労働省と日本年金機構の一体的な連携の下、国民年金や厚生年金保険の適用・徴収対策の推進、迅速で正確な事務処理の実施、年金定期便やねんきんネット等を活用したわかりやすい情報提供の促進に取り組んできましたが、年金制度改正への対応についても責任をもって取り組んで行く所存です。

引き続き、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、愛知県社会保険労務士会知多支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新 年 の ご 挨拶

支 部 長

田 中 晴 英

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、知多支部会員の皆様には、支部活動に深いご理解と多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、関係団体の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、本年度の事業計画についての報告ですが、着々と進んでおり、3月には無事完了となりそうです。先ずは、9月22日の支部研修です。他支部会員に参加いただき、さらには支部オンライン研修動画として本会HPにて公開もされ、研修会後の懇親会についても、講師の先生と他支部会員様にもご参加いただきとても有意義な研修会となりました。次に、支部親睦研修旅行については、11月16日に開催し、行先は高山でした。天候にも恵まれ心配された渋滞もなく、ひるがの高原のソフトクリーム、美味しい飛騨牛、日本酒の利き酒、半弓道場での真剣勝負等、紅葉の高山を堪能し会員同士の親睦を深めることができました。最後に、12月7日にアピタ東海荒尾店・イオンモール常滑で開催された無料相談会です。今年度は、相談件数の増加を目的とし、知多半島各市町の広報誌への広告掲載、併せて開催地の東海市と常滑市に絞り新聞折込チラシを配布しました。朝からチラシをもった相談者が多数相談に来ていただき、事前告知の効果が表れたと確信しています。

また、10月に日本史上初の女性首相の高市内閣が発足しました。早々に、40年続くガソリン暫定率が廃止され25円安くなりました。外交では「世界の真ん中で咲き誇る日本外交」と、トランプ米国大統領との首脳会談、ASEAN、G20での他国首脳の映像をみると日本が大きく変化し今後よりよくなる期待を感じています。今後、我々社会保険労務士に関わる労働社会保険諸法令にも大きな改正があることが容易に予想される状況です。労働基準法の40年ぶりの大改正、在職老齢年金の支給基準の大幅な引き上げ等、社会保険労務士の必要性は益々高まっていくと思われます。

本年も引き続き、会員の皆さまにとって有益な支部活動を行っていきたいと思っていますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

知多支部秋の親睦研修旅行

2025年11月16日(日)、家族参加を含めて31名で、「～錦秋の紅葉に彩られた高山～風情溢れる出格子の町並み×食べ歩き&お土産散策 最高ランクの飛騨牛“選べる”ご昼食!」と題した親睦バス旅行が開催されました。

参加者の皆さまの普段の行いが良いおかげでしょうか、当日は秋晴れに恵まれました。

私も妻と一緒に初めて参加してさせていただきました。住吉駅に7時半集合でしたが、支部に入ってまだ年数が浅い私が、まさかの最後の一人になるというハプニングからスタート。

バスに乗り込むと早速、幹事の佐藤先生から温かい(?) ツッコミをいただきましたが、そのおかげで参加の皆さまに名前と顔を覚えていただけた気がします。きっと佐藤先生の優しい計らいだったのでしょう。

高山に到着してまずは高山陣屋前で記念写真。その後は昼食まで、思い思いに町並み散策を楽しみました。私は高山陣屋に立ち寄りましたが、庭園を彩る紅葉の鮮やかさに見入ってしまうほど。まさに“錦秋”にふさわしい美しさでした。



祝・開催 愛知県社会保険労務士会 知多支部 親睦研修旅行
於 高山陣屋前 2025年11月16日

そしてお待ちかねの昼食は、「創作郷土料理寿司本舗 梗絲」へ。

私は飛騨牛のひつまぶしをいただきました。とても柔らかく口の中で一瞬にして蕩けてしまいました。薬味、出汁茶漬けの味変も楽しめました。

その後は、半弓体験組と再び市内散策組に分かれて行動。

『第1回 半弓選手権大会 in 高山』では、好プレー珍プレーも飛び出し、お子様も楽しめたのではないのでしょうか。

散策組も、出格子の町屋が連なる古い町並みをのんびり歩きながら、土産物屋をひやかしたり、甘味をつまんだり、それぞれ高山の魅力を存分に味わわれていました。

帰りのバスの中でも恒例のBINGO大会で大いに盛り上がり、終始笑顔の絶えない一日となりました。親睦を深めることができたのではないかと思います。

最後に、この素晴らしい研修旅行を企画、運営してくださった、田中支部長、石川副支部長、佐藤先生、そして安全運転で旅をささえていただいた運転手さんに、心より感謝を申し上げます。

久野裕規



無料相談会

アピタ東海荒尾店会場 間瀬美穂

12月7日(日)、アピタ東海荒尾店にて開催された無料相談会に、相談員として参加させていただきました。開始時刻前からすでに相談者の方々が列をつくっておられ、その熱心な様子にまず驚かされました。その後も途切れることなくご来場が続き、午前中はあっという間に過ぎていきました。

午後2時頃になると、日曜の午後ということもあり、会場2階フロアは次第に来場者が少なくなっていました。それでも年金に関するご相談はぼつりぼつりと続きました。なかでも印象深かったのは、午前中にお越しになった相談者の方が、午後の終了時間間際に再度来場され、熱心に相談を続けておられたことです。担当された先生の実務経験の豊かさと、年金に関する深い知識に裏打ちされた丁寧な対応が、相談者の方の信頼につながっているのだと感じ、深く感銘を受けました。また、一般の皆様の年金制度への関心の高さも強く実感した一日でした。

初めて相談員として参加し、至らない点も多くありましたが、先輩相談員の先生方に支えていただきながら学ぶことができ、心より感謝申し上げます。さらに、会場まで応援に駆けつけてくださった田中支部長をはじめ知多支部の皆様、そして激励のお言葉をくださった市川会長にも、この場をお借りして御礼申し上げます。

師走最初の日曜日、相談員の先生方との写真撮影をもって、本相談会を無事に終えることができました。今回の経験を糧に、今後も精進してまいります。



無 料 相 談 会

イオンモール常滑会場 都 筑 淳 子

12月7日(日)、イオンモール常滑とアピタ東海荒尾店にて「年金労務無料相談会」が開催されました。私はイオンモール常滑会場で、相談員として初めて参加させていただきました。

新聞折り込みチラシや会場入り口で配布したポケットティッシュの効果もあり、当日は25件ものご相談があったと後で聞き、とても驚きました。

朝一番に来られた方は、新聞の折り込みチラシをご覧になり、ご自身でまとめられた資料を持参されていました。「しっかり準備をして相談に来てくださっているんだな」と感じると同時に、チラシのPR効果にも感動し、とても嬉しく思いました。

私は年金相談を担当させていただきましたが、労務分野についてはまだまだ勉強中です。労務の相談を受けている先輩の先生方が、専門的な内容を相談者の方にわかりやすく説明されている姿を拝見し、「すごいなあ」と思うとともに、大変勉強になりました。

今回の相談会は、学びが多く、貴重な経験をさせていただいた一日でした。ご一緒させていただいた諸先生方に、心より感謝申し上げます。



令和7年12月7日実施の社会保険労務士の日無料相談会では、以下の2会場で12名の方々に協力していただきました。

●常滑会場（イオンモール常滑）

磯村 信悟 都筑 淳子 西方 大作 福井 達也 古川 実枝 和田 英子

●東海会場（アピタ東海荒尾店）

石濱 嘉章 稲田 昇子 太田 壽夫 川崎 徹 棚橋 美保 間瀬 美穂

（敬称略、五十音順）

支部研修会を開催**第1回**

日 時：令和7年6月21日(土) 13:00～16:45

場 所：アイプラザ半田 第1会議室

研修内容：「労働保険年度更新申告書の例題、協力者としての対応」

進 行 役：田 中 晴 英 支部長 グループ進行：研修部員その他ベテラン会員

第2回

日 時：令和7年9月17日(水) 15:00～17:30

場 所：半田市市民交流センター ホール クラシティ3階

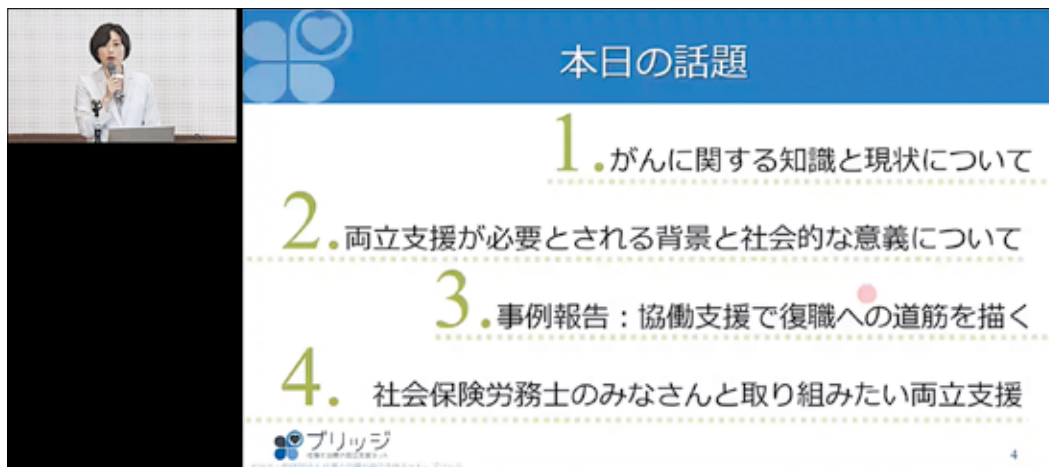
研修内容：「治療とともに働く社会をつくるためにできること

～企業活性化のための両立支援～」

講 師：一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット

ブリッジ代表理事 服 部 文 氏

※上記の第2回研修は、愛知会他支部会員も参加され、また、愛知県社会保険労務士会HPにて愛知会会員向けに令和8年1月13日まで配信。

**「出前授業事業」講師の推薦について**

●来年度の講師として、以下5名の方々を支部推薦しました。

浦 崎 圭 子 成 瀬 英 幸 西 方 大 作
福 井 達 也 古 川 実 枝

(敬称略、五十音順)

「がん患者就労支援事業」相談員と候補者の推薦について

●来年度の相談員として、以下6名の方々を支部推薦しました。

浅 野 奈緒子 稲 田 昇 子 佐 藤 由美恵
棚 橋 美 保 古 川 実 枝 和 田 英 子 (敬称略、五十音順)

会員の異動等紹介

令和7年6月～令和7年11月までの種別変更等の状況です。

会員名	種 別	変更日
都筑 淳子	勤務→開業	令和7年7月1日

年金相談員業務について 都 筑 淳 子

令和7年3月末に今まで勤めていた会社を退職、勤務登録から開業登録に変更し8月からOJT研修等を経て行政協力として年金相談員の業務に携わるようになりました。週に二回ほど年金事務所の窓口で相談対応を行っています。

在職中、年金に携わる仕事をしていましたので、希望して始めた仕事です。制度の複雑さや相談内容の幅広さに戸惑うことも多く、正直なところもっと勉強しなければ、と感じる場面も少なくありません。

それでも、同じ業務に従事されている7名の先生方に日々助けていただき、なんとか一つ一つの案件に向き合っています。時間内に終わらず、職員の方にご迷惑をかけている現状ですが、少しずつ流れがつかめてきたように思います。

まだまだ経験不足で、ご迷惑をおかけすること多いと思いますが、一步一步成長していけるよう頑張ります。窓口で見かけることがあれば、「新人、頑張っているな」と温かく見守っていただけると嬉しいです。

労働基準監督署業務を体験して 佐 藤 由美恵

6月から10月までの約5か月間、半田労働基準監督署で月5日勤務する機会をいただきました。6月から8月は年度更新の窓口業務や、労働局へ送付する書類の準備を担当し、職員の皆さまに助けていただきながら、少しずつ仕事の流れを身につけていきました。

9月から10月は窓口対応や書類整理が中心となり、インデックス作りも続けるうちに慣れていき、気づけば「インデックス作りがやたら早くできる人」という謎の特技まで身につけていました!!そんな日々の中で、職員の丁寧な電話対応をそばで聞く機会も多く、労災給付のお仕事の大変さや責任の重さを知ることができ、大変勉強になりました。このような貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

知多支部会員の皆様へ**◆会務へのご意見の公募について**

愛知県社会保険労務士会知多支部では、更なる会務運営に活かすため、会員の皆様から広くご意見を受け付けています。お気づきのことがございましたら、支部長又は副支部長までお気軽にお申し出ください。

◆個人ブログ・SNS等への写真等の掲載についての注意喚起

社会貢献事業等の活動に関する写真やアンケート等を許可なく個人ブログやSNS等に掲載することはお控えください。掲載する場合は関連する方の許可が必要です。掲載に迷う場合は、必ず確認をお願いします。

連絡先

支部長 田中 晴英（田中労務管理事務所）

☎0569-32-2639 ☎0569-32-2640

✉tanakaroumu@gmail.com

副支部長 石川 剛（石川社会保険労務士事務所）

☎0569-74-3233 ☎0569-74-3288

✉ishikawa@zaa.att.ne.jp

副支部長 西方 大作（社会保険労務士だいさく事務所）

☎0569-24-3604 ☎0569-24-3604

✉dicknishikata@gmail.com

副支部長 棚橋 美保（office coeur）

☎080-5520-0530 ☎0569-73-2103

✉office_coeur@kkh.biglobe.ne.jp

編集後記

「知多支部だより」を最後までお読みいただきありがとうございます。

昨年は新しいことに挑戦する一年となりました。4月から「愛知働き方改革推進支援センター」のセンター員として勤務することとなり、センターの運営をはじめ、働き方改革に関連するセミナー企画やHPへの掲載・更新等、知識や経験がないなりにこの事業の意味を考え、フル稼働の日々です。今まで経験したことのないプレッシャーもあり余裕がなくなりがちですが、愛知会の多くの先生方と知り合うことができ、多くの刺激をもらいながら業務に励んでいます。

午年の今年、「エネルギーに満ちて、活動的な」一年になるよう、支部だよりでも新たな取組みを企画していきたいと思っています。

最後に、編集にあたり日頃の業務でお忙しい中、原稿協力をしてくださった先生方に心より御礼申し上げます。

総務部 浦崎 圭子